

科目区分	授業科目	科目番号	重点的「知識」	知得する能力 「知識」	次の段階で「思考・判断・行動力」	組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	社会及び「自律的行動力」
工学基礎科目 (25)	数Ⅰ基礎(演習)	ARC180M	建築デザインに必要な算数に関する専門知識を修得する。	-	制図の技術によって、建築デザインの諸課題を解決する技能を修得する。	-	-
	微分・積分	MTH180M	微分・積分に関する基礎的な知識を身につけている。	-	微分・積分の理解を通して、工学や建築学の基礎的諸問題に対する分析力・解決力の素養を修得する。	-	-
	情報処理学	INF180M	情報処理、情報発信及び問題解決に関する基礎的な情報リテラシー能力を身につける。	-	-	-	-
	環境造形演習	ARC181M	-	建築設計時に必要となるプレゼンテーション及び図面表現を行うための基礎的技術を修得している。	建築デザインの本质を理解し、建築設計に関わる基本的表現方法を身につけている。	-	自らの発案に基づき提案を求め課題を通じ、建築や建築デザインに関し、創意工夫に基づき独自の提案を行うことができる。
	環境調和と建築資源	ARC111M	環境調和および建築資源に対する工学的アプローチの基礎知識を修得している。	-	-	-	-
	建築環境計画学	ARC100M	建築環境計画に関する基礎的な知識を身につけている。	-	-	-	-
	構造力学Ⅰと演習	ARC100M	特定構造物(梁・ラーメントラス)の断面力算定に関する基礎的な知識を身につけている。	-	-	-	-
	材料力学	ARC124M	建築構造設計に必要な基礎的な材料力学の知識を体系的に身につけている。	-	安全な建築物を設計できる基礎的な技術を身につけている。	-	-
	線形代数	MTH144M	線形代数に関する基礎的な知識を身につけている。	-	-	-	-
	自然エネルギー学	ARC120M	再生可能エネルギーに関する幅広い知識を体系的に身につけている。	再生可能エネルギーに関する基本的なコミュニケーションができる。	再生可能エネルギーについて、総合的な視点から思考して解決策を提案し、自分の考えを論理的に述べることができる。	-	-
	電気工学基礎	EIC100M	電気工学に関する基礎的な知識を身につけている。	-	-	-	-
	力学基礎	PHY190M	力学に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	-	-	-	-
	環境情報学概論	INF180M	様々な情報技術の応用事例に関する幅広い知識を身につけている。	-	-	-	-
	地域エネルギー論	ARC220M	地域エネルギーに関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	-	地域エネルギーについて、総合的、論理的に思考して解決策を提案し、自分の考えや判断を適切な方法で表現することができる。	-	-
	環境統計学	ENV210M	環境及び建築分野における統計的手法について、基礎的な知識を身につけている。	大量データの表現法や基本的解析法を身につけるとともに、簡易統計解析ツールを利用することができる。	-	-	統計学が社会でどのように必要とされているかを理解し、環境及び建築に関する諸問題を科学的・客観的に捉え、実務を身につけている。
	認知心理学	PSY240M	人間の認知特性に関する基礎的な知識を体系的に身につけている。	-	-	-	-
	環境設計基礎	ARC212M	空間計画論、都市計画論を主に上級建築設計に関する基礎的な専門知識を身につけている。	サステイナブル建築・都市を実現する環境設計に必要な技術を修得する。	-	-	-
	空間ワークショップ(演習Ⅰ)	ARC200M	-	-	空間デザイン、構造・施工、材料デザイン、建築環境エネルギーの各分野について、学際的・協働的に思考して解決策を提案し、自分の考えや判断を論理的に表現することができる。	学生同士で協働的な議論をしながら、協働して建築分野に横断的に存在する諸問題の解決に向けて取り組み姿勢を身につけている。	建築分野全般への関心とキャリア意識を持ち続け、専門的機能を有した人材として主体的に行動できる姿勢を身につけている。
	建築材料	ARC213M	主要な建築材料の基礎的な専門知識を修得している。	建築材料を用途に応じて適切に使い分ける技能を修得している。	建築材料に関する課題解決力の素養を身につけている。	-	-
	建築史概論	ARC240M	西洋建築史、日本建築史に関する基礎的な知識を身につけている。	-	西洋及び日本建築史の中で代表的な建築物を知っており、その特徴を理解している。	-	歴史的建築物の空間構成を理解し、建築設計に活かせる能力を身につけている。
	構造力学Ⅱ	ARC110M	構造力学に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	構造設計をおこなう上で必要な力学的な知識を適切に活用できる能力を身につけている。	-	-	構造力学への関心とキャリア意識を持ち続け、専門的機能を有する人材として主体的に行動できる姿勢を身につけている。
	住宅空間論	ARC230M	都市計画学の中の住宅地計画に関する基礎的な知識を身につけている。	住宅地計画及び住宅計画を行うための基本的技術を身につけている。	-	-	住宅地計画、住宅計画に関し、自分自身で考え、問題を解決する訓練を通して、生活学習できる姿勢を身につけている。
	設計演習Ⅰ	ARC238M	集合住宅、学校建築に関する専門的な知識を身につけている。	RC構造に關し、CADによる二次元及び三次元の建築図面の描き方、表現方法を身につけている。	作品課題の提出及び発表を通じ、設計意図、作品の特徴を論理的に説明できる能力を身につけている。	個別にエッセイを通じ、個人指導を行い、意思疎通、自己表現力を身につけている。	-
	木質系構造	ARC212M	住宅規模の木質系建築における構造の基礎的な専門知識を修得している。	木質系建築の設計・施工に必要な技能を修得している。	木質系建築の設計・施工において生じる課題を解決する能力の素養を身につけている。	-	-
	環境工学概論	ARC260M	建築環境工学における各種物理量の測定法・解析法・評価法について理解している。	建築における光環境、熱環境、空気環境等の基本的測定技術と測定データの解析・評価スキルを身につけている。	-	-	グループワーク(実験)の中で、他者と協働しながら相互理解を深める力を身につけている。
環境設計実践	ARC228M	実践や調査を通して、建築設計の実践的な専門知識を身につけている。	建築設計に関する測定データと調査結果をまとめるために必要な技能を修得する。	建築設計に関する課題に、身につけた専門知識が適用可能な場合を判断する。	-	-	
環境・都市計画学	ARC213M	建築計画学及び都市計画学に関する専門的な知識を身につけている。	計画学に基づき、建築及び都市計画を行うための基本的技術を身につけている。	建築用途ごとの代表的建築物及び都市計画に関する知識を身につけ、新たな計画立案に活用できることを理解している。	-	-	
建築環境デザイン工学	ARC233M	建築環境・ランドスケープに関する基礎的な専門知識を修得する。	建築環境・ランドスケープを考えた技能を修得する。	建築環境・ランドスケープにおける課題について分析し解決する能力を修得する。	-	-	
建築材料実験	ARC218M	実験を通じ建築材料の実践的な専門知識を身につけている。	建築材料に関する実験方法と測定データの結果をまとめるために必要な技能を身につけている。	修得した知識や技術を基に建築材料に関する実験的な課題の発見とその課題を解決する能力を身につけている。	-	実験を通して、データの改善等社会人として禁止されている事項を理解し倫理観を身につけている。	
設計演習Ⅱ	ARC248M	商業建築、公共建築に関する専門的な知識を身につけている。	中規模のRC構造に關し、CADによる二次元及び三次元の建築図面の描き方、表現方法を身につけている。	作品課題の提出及び発表を通じ、設計意図、作品の特徴を論理的に説明できる能力を身につけている。	個別にエッセイを通じ、個人指導を行い、意思疎通、自己表現力を身につけている。	-	
建築系構造の設計と演習	ARC212M	鉄骨構造に関する基礎的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	鉄骨構造の構造設計をおこなう上で必要な知識を適切に活用できる能力を身につけている。	-	-	教育系構造物への関心とキャリア意識を持ち続け、専門的機能を有する人材として主体的に行動できる姿勢を身につけている。	
建築知識学・序論	ARC214M	建築構造物に作用する荷重と簡単な振動モデルの導出に関する基礎的な知識を身につけている。	1質点モデルの固有周期を算定できる。	-	-	-	
建築マネジメント	ARC215M	建築マネジメント、建築施工を主とした建築生産に関する専門知識の基礎を理解している。	サステイナブル建築・都市を実現する建築生産に必要な技能を身につけている。	-	-	建築マネジメント、建築施工の遵守すべき事項を理解し倫理観を身につけている。	
エネルギーと室内環境	ARC200M	建築におけるエネルギーと環境性能向上を両立するための専門知識を身につけている。	建築設計・環境工学の基本的な定性・定量解析ができ、建築環境計画へ活用することができる。	-	-	環境共生やSDGsへの取組に関心を持ち、持続可能な建築・都市の構築へ自ら貢献しようとする意欲を身につけている。	
近代建築史	ARC240M	海外及び日本の近代建築史に関する基礎的な知識を身につけている。	歴史的建築物の空間構成を理解し、建築設計に活かせる技術を身につけている。	西洋及び日本建築史の中で代表的な建築物を知っており、その特徴を理解している。	-	-	
コンクリート系構造の設計	ARC210M	コンクリート系構造に使用される材料に関する知識ならびに木・竹の許容耐力算定に関する基礎的な知識を身につけている。	鉄筋コンクリート梁・柱の設計ができる(鉄筋の必要量を算定できる)。	-	-	-	
設計演習Ⅲ	ARC262M	二以上の専ら構成する建築物を設計する専門知識を修得する。	環境に配慮し安全で快適な建築設計に必要な技能を身につけている。	建築設計課題において現状分析・課題発見・課題の解決策を立案することができる。	-	-	
光と色の環境デザイン	ARC212M	音環境と光環境に関する専門的な知識を身につけている。	演習課題を通して、音・光環境デザインを行うための専門知識を活用するスキルを身につけている。	修得した知識をもち、光と色の環境デザインについての課題を発見し解決する能力を身につけている。	-	-	
建築安全・仮設工学	ARC213M	建築に関するリスク、安全、仮設、仮設物に関する基礎的な知識を身につけている。	様々な場面で使用される仮設物を造出し、設計する能力を身につけている。	-	-	日常災害や自然災害への関心を持ち続け、建築技術者として社会の安全に貢献できる姿勢を身につけている。	
建築構造デザイン	ARC211M	-	建築構造デザインを行う上で最低限必要な教養を身につけている。	-	-	建築構造デザインへの関心とキャリア意識を持ち続け、専門的機能を有する人材として主体的に行動できる姿勢を身につけている。	
建築材料用法演習	ARC212M	適切な材料を選定するために必要となる様々な建築材料に関する知識を身につけている。	習得した知識を図面に反映させるスキルを身につけている。	-	-	材料や環境への関心を持ち続け、主体的に材料を選定する姿勢を身につけている。	
建築設備デザイン	ARC222M	建築設備及びそのデザインに必要な基礎的な知識を身につけている。	建築設備デザインに必要な技能を身につけ、それを応用することができる。	-	-	-	
都市環境計画	ARC230M	都市環境に関する専門的な知識を体系的かつ総合的に理解している。	都市環境に必要な情報を収集、分析することができる。	都市環境の観点からの論理的な分析をもち、課題を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。	-	都市環境への関心とキャリア意識をもち、都市環境の改善に向けて、積極的な行動を身につけている。	
パッシブシステムデザイン	ARC232M	パッシブシステムに関する幅広い知識を体系的かつ総合的に身につけている。	-	-	-	他設計者等と効果的なコミュニケーションを図り、パッシブシステムを設計する能力を身につけている。	
保全施工実験	ARC260M	建築物の劣化・保全に関する基礎的及び実践的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	安全に建築物の劣化・保全を進めようとする必要となる施工の基礎的な技能を身につけている。	保全施工技術者の観点から、社会的な問題点を見つける能力。さらに、理論的な分析をもとに問題点を解決する能力を身につけている。	-	-	
保全構造実験	ARC218M	建築構造物を対象とした実験・解析計画における基礎的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	実験結果から得られた情報を収集・分析する能力と、建築物の劣化をモデル化し、構造解析を行い建築物の状態を把握する能力を身につけている。	-	-	建築構造物を対象とした実験・解析計画における関心とキャリア意識を持ち続け、専門的機能を有する人材として主体的に行動できる姿勢を身につけている。	
環境コスト	ARC215M	建築物のLCCを主とした建築設計に関する専門知識の基礎を理解している。	建築設計の読み方を取得し、部材の数量算定を実施するために必要な技能を身につけている。	環境コストに関する実験的な課題の発見とその課題を解決する能力を身につけている。	-	-	
建築施工	ARC215M	建築施工に関する基礎的及び実践的な知識を体系的に身につけている。	安全に建築物を施工する上で必要となる基礎技術を身につけている。	-	-	建築施工技術者として、社会に対して責任を持ち続け、貢献できる姿勢を身につけている。	
建築関係法規	ARC201M	建築関係法規に関する専門知識を修得する。	建築関係法規の適用に関するスキルを修得する。	-	-	修得した知識をもち、建築関係法規に関する法令遵守や倫理観の能力を身につけている。	
現代環境デザイン	ARC217M	持続可能な社会システム構築に必要な専門知識を身につけている。	広い視野を持ち、正確な情報を収集し、分析することができる。	-	-	近未来を築く建築技術者としての責任を認識し、倫理観を持って行動する姿勢を身につけている。	
環境計画演習	ARC248M	建築物の環境性能評価を体系的かつ総合的に理解している。	建築物の環境性能評価に必要な情報を収集、分析することができる。	建築物の環境性能の論理的な評価・分析をもち、環境改善策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。	他の設計者と協働的な議論をしながら、協働して、環境計画資料や環境改善策を提案することができる。	-	
環境設計演習	ARC228M	環境設計演習において必要な基礎的な専門知識を身につけている。	環境設計演習の際に必要な技能を身につけ、それを応用することができる。	-	-	-	
建築材料設計演習	ARC218M	環境に配慮した建築材料設計に関する専門知識を修得している。	建築材料設計に関する工学的手法を修得している。	-	-	材料設計を行う際に生じる課題を、修得した専門知識・工学的手法で解決することができる。	
空間ワークショップ(演習Ⅱ)	ARC200M	-	-	社会人による議論を通して、建築業界の現状を把握し、より専門性の高い分野を選択するための基礎知識を身につけている。	-	建築業界で働くために必要な専門性を理解し、将来の職業や研究開発に必要な知識を身につけている。	
構造設計演習	ARC214M	建築構造設計に必要な基礎的な知識を体系的かつ総合的に身につけている。	安全な建築物を構造設計するための基礎技術を身につけている。	建築構造設計における社会的な事項に対して、問題点を発見する能力。さらに、専門的見地から論理的に解決する能力を身につけている。	-	建築構造設計者として、社会に対して責任を持ち続け、主体的に行動できる姿勢を身につけている。	
設計演習Ⅳ	ARC238M	設計コンペの作成を通じ、高度な建築設計及び建築表現に関する専門知識を身につけている。	手書きやCADによる高度な二次元及び三次元の建築図面の描き方、表現方法を身につけている。	作品課題の提出及び発表を通じ、設計意図、作品の特徴を論理的に説明できる能力を身につけている。	グループごとエッセイを行うことにより、グループ間の意思疎通、自己表現力を身につけている。	社会的なテーマを課題とし、実践力を修得するとともに、自らの建築設計課題を教員や他の学生に説明し、議論できる能力を修得する。	
建築環境情報学演習	ARC232M	-	環境情報に関する幅広い情報を収集、分析することができる。	地域環境の観点からの論理的な分析をもち、情報収集を深めることができる。	ほかの学生と協働して協働的な活動を促進するコミュニケーション力を持っている。	-	
卒業研究	卒業研究Ⅰ	STH410M	未知の課題に挑戦し、客観的に分析し自ら解決策を導き出すための知識を身につけている。	論文発表を論文としてまとめる技能を身につけている。	論文発表を、高いプレゼンテーション能力を身につけている。	-	自分自身で考え問題を解決する訓練を通して、生活学習できる能力を身につけている。
	卒業研究Ⅱ	STH411M	様々な条件を分析し、建築物を設計するための知識を身につけている。	分析した結果を、正しく計画図に表現するためのスキルを身につけている。	設計図や模型等の作品制作及び発表を通して伝える。高いプレゼンテーション能力を身につけている。	作品及び最終発表に、設計計画や内容を教員及び他の学生に説明し、議論できる能力を身につけている。	自分自身で考え問題を解決する訓練を通して、生活学習できる能力を身につけている。